



インプラントを長持ちさせたい！

人工の歯であるインプラントも細菌が大の苦手。。。。

天然歯と同じような噛み心地と若々しい口元の回復に役立つ治療としてすっかり定着したインプラント治療。しっかりしたケアを行うことで耐久性に違いがでてご存知ですか？インプラントと長く付き合うための重要なポイントをお話していきます。代表的なチェック項目をあげてみましょう。

フローリング検査

歯周病の検査のことです。
インプラントも歯周病になるので細かく確認していきます。
ポケットの深さだけではなく出血がある場合は、要注意です。

レントゲン撮影

炎症が起きているとき、もしくは経過をおって診（み）る必要がある時など、必要に応じて適宜レントゲン撮影を行わせていただきます。
また場合によっては CT を撮らせて頂く場合もあります。

PMTC

歯肉の溝に隠れた歯石やプラークを取ります。表面には、あごの骨との結合を促す為の加工が施されているので、傷めないようにカーボン製などのスクレーパーで注意深く行います。また軟らかいラバーカップやラバーチップを使用して研磨剤の入っていないペーストでソフトに磨きます。歯間や歯ぐきのキワなど、セルフケアが不十分になりがちところや、苦手なところのプラークコントロールをプロのケアを行います。



噛み合わせのチェック

噛んだときにどこか当たる感じがあるなどの違和感はないか、偏った無理な力がかかってないか、歯ぎしりの影響はないか、周りの天然歯が動いてはいるかないかなどのチェックをします。

ブラッシングの確認

基本のプラークコントロールは普段のブラッシングです。歯ブラシだけでなく、歯間ブラシやフロスなど補助用具を正しく使用されているか確認させていただきます。

インプラントは小さな精密部品でできた人工の歯です。虫歯になることはないですが、細菌感染によって歯周病になってしまいます。

普段から大切にケアしていくことと、確実な定期検診が必須です。

クインテッセンス出版社 nico2012.1 号より

